
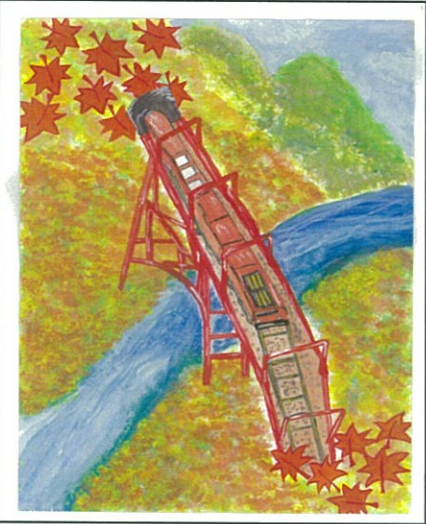



○ 金賞及び審査員特別賞 講評

	作品	講評
黒部川(低学年)	 <p data-bbox="188 705 616 779">「山彦橋からトロッコに手をふったよ」 やまがた りこ 山彦 莉子 さん</p>	<p data-bbox="643 174 1493 472">山彦遊歩道からトロッコ電車を眺めています。橋の上を軽快に走る姿を見ると、思わず手をふりたくなりますね。遠くのトロッコ電車を上の方に、手をふる人たちを下の方に描くことで、のびのびと画面全体を使った面白い表現になりました。山や川の流れの緑色に、橋やトロッコ電車の赤色が映えています。トロッコに乗った人のとても嬉しそうな表情もしっかりとらえています。夏の楽しい思い出だったのでしょね。</p>
黒部川(高学年)	 <p data-bbox="188 1377 616 1451">「秋の紅葉と黒部川」 みたか あいな 三高 愛菜 さん</p>	<p data-bbox="643 795 1493 1099">やまびこ展望台からの眺望でしょう。新山彦橋を走るトロッコ電車を真上から見下ろすようにとらえた構図がとても効果的です。ありのままに描くのではなく、淡い朱色や黄緑色など、紅葉の山を色のかたまりで描き、また赤く色づいたカエデの葉を強調して大きく描くことで、深まる秋の黒部峡谷の美しさに感動した気持ちがよく伝わってきます。画面を横切る黒部川も良いアクセントになっています。</p>
常願寺川(低学年)	 <p data-bbox="188 2060 616 2134">「白岩川の火ながしと花火」 まがら こうき 麻柄 昊輝 さん</p>	<p data-bbox="643 1478 1493 1783">伝統的な「橋まつり」の場面。幻想的なご神灯を川面に流す「火流し」と花火を同時に眺められる人気スポットですね。厳粛な火の祭りに対する華やかな花火のコントラストがすてきです。細い切り紙で花火の表情を出し、赤いちぎり絵でご神灯の炎を表現するなど、絵筆のタッチの違いのように、調子の違った貼り絵の技法を組み合わせる祭りの様子をうまく表現しています。色の調子を整えたことにより、画面にまとまりが生まれていてすばらしい。</p>

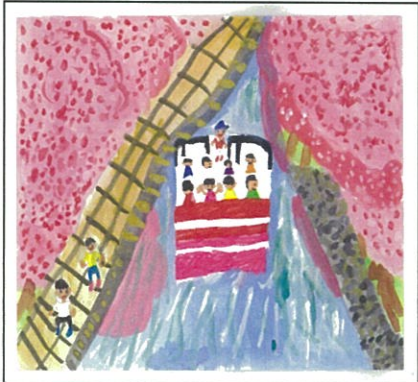
常願寺川  
(高学年)



「聞こえるね川の音」  
いづい はるか  
岩井 陽香 さん

日本一の貯砂量を誇る本宮砂防のえん堤でしょうか。常願寺川らしい風景のひとつです。ぐっと近くに人物がクローズアップされた大胆な構図で、遠くのえん堤との対比もすばらしい。大きく手のひらをひろげて耳をそばだてている様子からは、流れ落ちる川の水の音が聞こえてきそうです。人物の表情を描かなかったことで、みる人がいろんなことを想像できるような深みのある豊かな絵になりました。

神通川  
(低学年)



「ゆうらんせんからの花見」  
しょうぜん れな  
小善 玲奈 さん

春らんまん、満開の桜ですね。松川の遊覧船「神通」号に乗りながら優雅に花見をする様子がほのぼのと伝わってきます。人物を細かく描いたのに対し、それとは対照的に河岸に並ぶソメイヨシノの花を、思いきり大きく色のマッス（かたまり）で描いたことがとても良いと思います。桜のトンネルに続く遊歩道（低水護岸）が、花の色を引き立てていて効果的です。

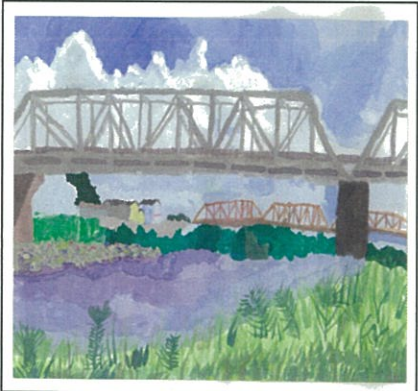
神通川  
(高学年)



「飛行機と川」  
まつむら ただよし  
松村 匡純 さん

飛行機と釣り人を同時に見られる神通川ならではの光景です。飛行機をバックに、神通川に立ち込んで鮎の友釣りをする勇壮な太公望（釣り人）の姿が景色に溶け合っていて魅力的です。土手の石や草の緑が帯のように続く景色に対して、しぶきの白や竿の線が良いアクセントになっています。実際はもう少し遠くに見える飛行機を近くに描くことで、画面に臨場感が出ました。

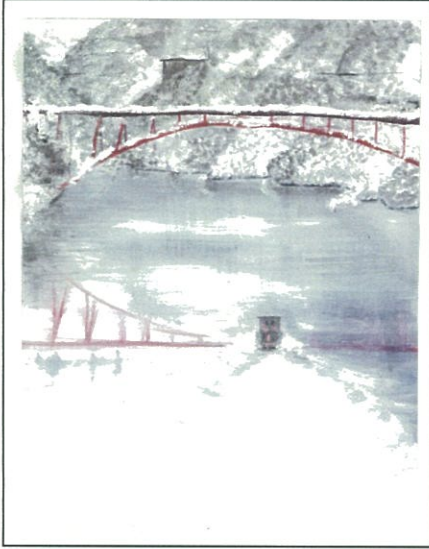
庄川  
(低学年)



「ながめがいい庄川」  
さかの ともひろ  
坂野 友洋 さん

草木のしげる河原から庄川が上流をのぞめます。川は手前の鉄橋から奥の赤い鉄橋へ抜け更に上空に続く夏の雲が輝いている様子がとてもよく描かれています。

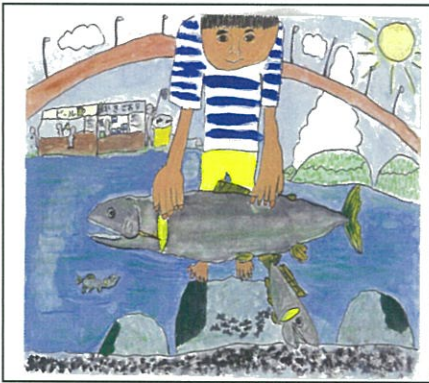
庄川  
(高学年)



「庄川峡の冬」  
やまもと とうや  
山本 透弥 さん

モノクローム（単色）の雪景色のなか、ダム<sup>ダム</sup>の湖面に進む船が赤いアーチ形の橋の真下を通過しようとしています。冬の静かな情景に吸い込まれそうになります。

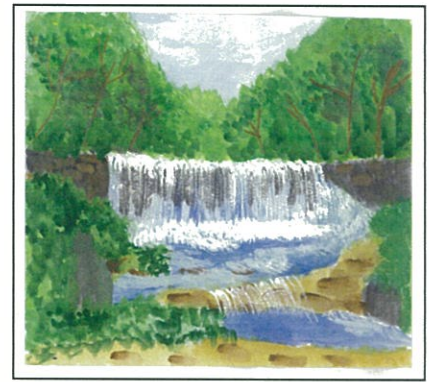
小矢部川  
(低学年)



「鮎とったぞー」  
みわ だいご  
三輪 大悟 さん

夏の川まつりの様子が楽しそうです。掴んだ大きな鮎と向こう奥に見える屋台や橋を描き分けたことで、絵に迫力を出すことができました。

小矢部川  
(高学年)



「すずしいよ！滝の音」  
おく なつき  
奥 夏希 さん

宮島峡一の滝、流れ落ちる滝の音が聞こえてきます。輝く水と澄んだ水面に映る空と雲から山の奥に引き込まれて行きそうな臨場感がでています。

審査員特別賞



「サケがもどる黒部川」  
さとう あやね  
佐藤 綺音 さん

勢いよく流れる急流を鮭が跳ねて登っています。産卵のために命がけで戻る鮭の表情や、傷だらけになりながら力をふりしぼる鮭の様子、婚姻色のうっすらとした赤色までよく観察されていて、申し分ありません。大自然に生きる命の物語を感じられる力強い作品です。さりげなく描かれた背景の川岸や松の木など、全体の画面構成もすばらしい。川の流れの表情もよくとらえられています。

審査員特別賞



「下条川の四月」  
いしい のぞみ  
石井 希実 さん

空を飛ぶ鳥からみたように下条川を上から眺められます。川を横切る橋と橋影や、左右に向かい合う桜並木も映っています。空から水面まで画面全体に春の空気が満ち溢れています。